

令和8年度当初予算審査抽出事業 調査報告書

(文教厚生分科会 No.3)

(所属課, 事業コード) 事業名	(保健センター 5537) 母子保健推進事業 ※P. 36	
予算額	令和6年度決算額	15,854千円
	令和7年度決算見込額	13,566千円
	令和8年度当初予算額 (案)	22,323千円
<p>【事業抽出理由】 (事業を選定した理由) 妊婦及び子育て世帯に寄り添い、切れ目のない支援により健やかな成長や発達を支援し、母子の健康増進と保護者の育児不安等の軽減を図ることを主な目的とした数多くの取組みを行っている。 更に令和8年度は新たに不妊治療費助成や無痛分娩費用助成の取組みも行うこととしている。これら新たな助成事業の詳細についても確認が必要であることから選定した。</p> <p>【事業の妥当性】 (事業の必要性, 費用対効果, 財源の安定性等) 伴走型相談支援員や母子保健コーディネーター(助産師等)による妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない子育て支援については、子ども及び保護者にとって必須の事業である。 新規事業である保険適用外の先進医療に適用可能な不妊治療費の助成は、本市でも母子健康手帳を交付した方々の1割程度が不妊治療を経て妊娠していることや、また、無痛分娩についても東京都のアンケートでは4割程度が、本市でも現状1割以上の方が実際に行っており、今後の増加予測も考慮した対象者のニーズにしっかりと対応した取組みであることから必要性については十分である。</p> <p>【調査結果】 (総括) 本市でのここ数年来の出生数の減少なども鑑みると、現在はもちろん将来的にも本事業は非常に大切なものである。新たに始まる不妊治療費助成は県補助金を活用したものであるが、無痛分娩費用助成事業は、県内でも先進的な事業であることから期待している。継続しながらさらに発展させていただきたい。 また、新たな事業については該当する方が制度を知らなかったということがないよう、現場での周知はもちろん、広く丁寧な広報についても願います。</p>		